

2021年3月期第2四半期 決算説明資料

名古屋鉄道株式会社

2020年11月10日

連結損益計算書

() は増減率

(単位：百万円、%)

	当第2四半期	前第2四半期	増減	(対前年同期)
営業収益	226,942	316,128	△ 89,186 (△28.2)	交通 △36,797 流通 △23,369 レジャーサービス △18,838 運送 △8,295 その他 △3,050 航空関連サービス △2,304 不動産 △1,307
営業費用	241,930	287,026	△ 45,096	商製品売上原価 △19,090 人件費 △7,149
営業利益	△ 14,987	29,101	△ 44,089 (-)	交通 △27,075 レジャーサービス △9,604 運送 △3,737 流通 △2,791 航空関連サービス △1,005 その他 △796 不動産 +1,144
経常利益	△ 10,838	30,631	△ 41,469 (-)	営業外収益 +2,616 営業外費用 △2
特別利益	2,403	1,239	1,164	投資有価証券売却益 +1,195
特別損失	3,132	1,382	1,750	投資有価証券評価損 +985
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△ 12,404	19,357	△ 31,762 (-)	

営業収益 : 【減収】 新型コロナウイルス感染症の影響により全事業で減収。

営業利益 : 【赤字化】 新型コロナウイルス感染症の影響による赤字化。

経常利益 : 【赤字化】 営業赤字による赤字化。

親会社株主に帰属する
四半期純利益 : 【赤字化】 経常赤字による赤字化。

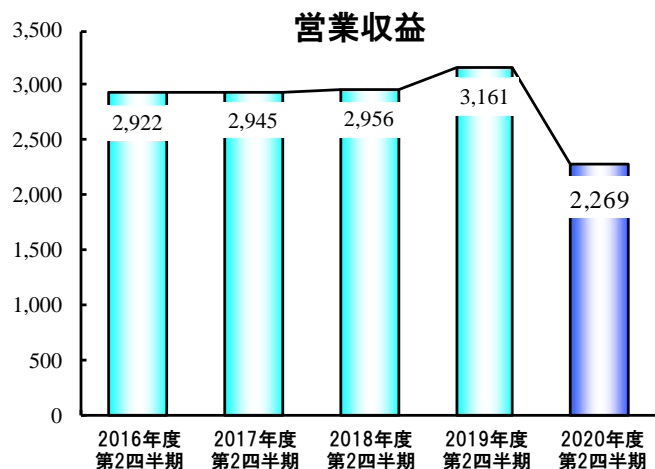
《連結子会社数》 : 112社 (増加なし)
(減少 1社) めいてつ企画 (被合併)

《持分法適用会社数》 : 15社 (増減なし)

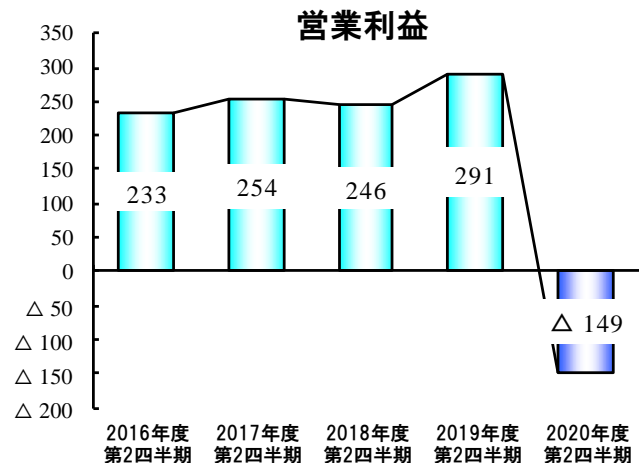


連結業績の推移

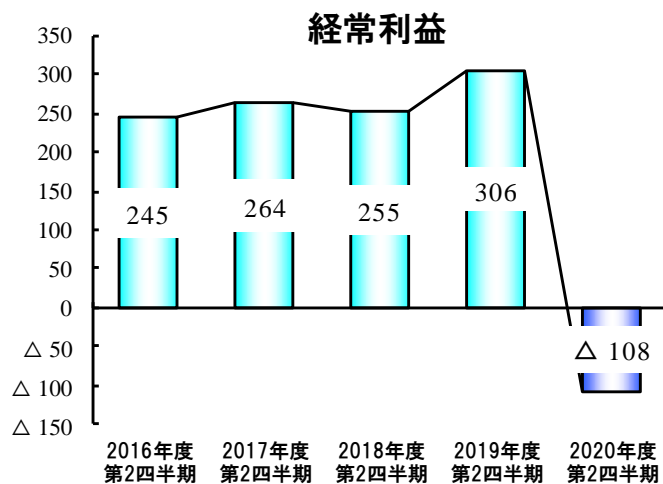
(単位:億円)



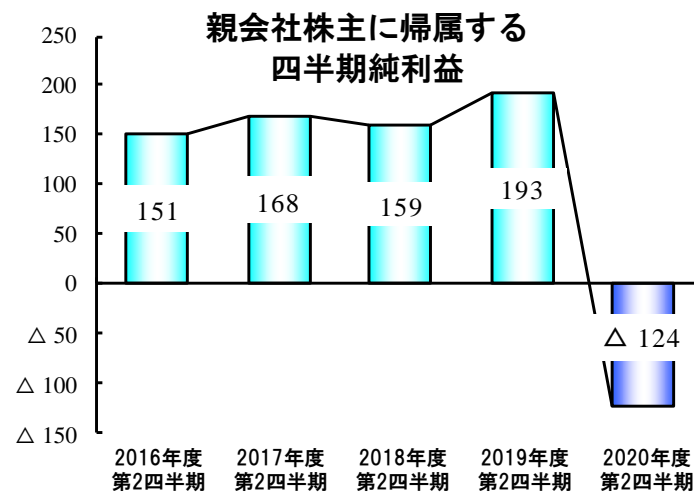
4期ぶり減収



第2四半期初の赤字



第2四半期初の赤字



11期ぶり赤字



※ 営業利益・経常利益について、中間連結財務諸表開示制度を導入した2000年度以降第2四半期として初の赤字

セグメント別営業成績

(単位：百万円、%)

営業収益	当第2四半期	前第2四半期	増減額	増減率	コメント
交通事業	48,782	85,580	△ 36,797	△ 43.0	新型コロナウイルス感染症の影響での外出自粛により全事業で減収
運送事業	61,941	70,237	△ 8,295	△ 11.8	新型コロナウイルス感染症の影響での貨物取扱量の減少などにより全事業で減収
不動産事業	47,734	49,042	△ 1,307	△ 2.7	分譲マンション販売による増収はあったものの、賃貸事業における駐車場利用の減少などにより減収
レジャー・サービス事業	7,745	26,584	△ 18,838	△ 70.9	新型コロナウイルス感染症の影響での観光需要の低下により全事業で減収
流通事業	49,115	72,485	△ 23,369	△ 32.2	新型コロナウイルス感染症の影響での外出自粛や、百貨店業における臨時休業により全事業で減収
航空関連サービス事業	9,964	12,268	△ 2,304	△ 18.8	新型コロナウイルス感染症の影響での機内食事業の受注減少により減収
その他の事業	19,611	22,662	△ 3,050	△ 13.5	新型コロナウイルス感染症の影響での受注減少により減収
調整額	△ 17,954	△ 22,731	4,777	—	
合計	226,942	316,128	△ 89,186	△ 28.2	

営業利益	当第2四半期	前第2四半期	増減額	増減率	コメント
交通事業	△ 12,150	14,925	△ 27,075	—	減収による赤字化
運送事業	117	3,855	△ 3,737	△ 96.9	減収によりトラック事業は減益、海運事業は赤字化
不動産事業	7,510	6,366	1,144	18.0	分譲マンション販売における増益
レジャー・サービス事業	△ 8,602	1,001	△ 9,604	—	減収によりホテル業や観光施設事業は赤字化、旅行業は赤字幅拡大
流通事業	△ 2,191	600	△ 2,791	—	減収により百貨店業は赤字幅拡大、その他物品販売は赤字化
航空関連サービス事業	181	1,187	△ 1,005	△ 84.7	減収による減益
その他の事業	241	1,038	△ 796	△ 76.8	減収による減益
調整額	△ 94	127	△ 221	—	
合計	△ 14,987	29,101	△ 44,089	—	

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期	前期末	増減額	コメント
流動資産	181,841	189,143	△ 7,301	受取手形及び売掛金の減少
固定資産	972,844	975,836	△ 2,992	
有形固定資産	831,669	831,771	△ 101	
無形固定資産	9,518	10,002	△ 483	
投資その他の資産	131,655	134,062	△ 2,406	保有上場株式の時価下落による投資有価証券の減少
資産合計	1,154,685	1,164,979	△ 10,294	
流動負債	266,027	262,787	3,239	1年内償還社債の増加
固定負債	469,837	463,790	6,047	社債の増加
負債合計	735,864	726,577	9,286	
純資産合計	418,820	438,401	△ 19,580	株主資本 △17,732 親会社株主に帰属する四半期純利益 △12,404 剰余金の配当 △4,917
負債純資産合計	1,154,685	1,164,979	△ 10,294	
連結有利子負債合計	458,915	423,376	35,538	〔参考〕純有利子負債残高421,466（前期末比 +30,792）

個別業績

◆個別損益計算書◆

() は増減率

(単位：百万円、%)

	当第2四半期	前第2四半期	増減	(対前年同期)
営業収益	37,507	56,983	△19,475 (△34.2)	鉄軌道事業 △19,539 開発事業 +63
営業費用	40,768	43,160	△2,391	電力料 △488 人件費 △458
営業利益	△3,261	13,823	△17,084 (—)	
経常利益	679	18,961	△18,282 (△96.4)	営業外収益 △538 営業外費用 +660
四半期純利益	481	14,472	△13,991 (△96.7)	特別利益 +1,231 特別損失 +915

◆名鉄 運輸成績◆

(単位：百万円、%)

旅客収入	当第2四半期	前第2四半期	増減率
定期外	11,626	26,238	△55.7
定期	16,273	20,973	△22.4
計	27,900	47,211	△40.9

(注)定期外旅客収入には特別車両料金を含む。

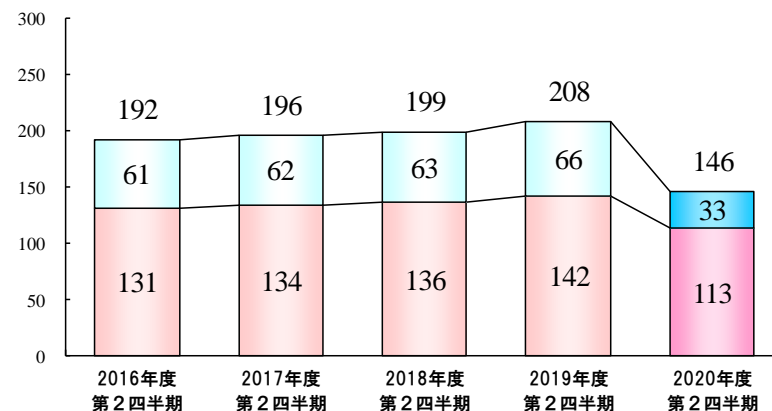
(単位：千人、%)

輸送人員	当第2四半期	前第2四半期	増減率
定期外	32,915	65,848	△50.0
定期	113,173	142,255	△20.4
計	146,088	208,103	△29.8

輸送人員の推移

(単位：百万人)

□ 定期 □ 定期外



2021年3月期 連結業績予想

()は増減率

(単位：百万円、%)

	2020年度 予想	2019年度 実績	増減	(対前期)
営業収益	493,000	622,916	△ 129,916 (△20.9)	交通 △50,244 流通 △24,038 レジャー・サービス △22,937 不動産 △14,869 運送 △10,020 その他 △6,023 航空関連サービス △4,751
営業利益	△ 21,500	47,363	△ 68,863 (—)	交通 △37,977 レジャー・サービス △11,411 不動産 △6,409 運送 △5,042 流通 △2,930 航空関連サービス △2,816 その他 △2,354
経常利益	△ 18,000	49,288	△ 67,288 (—)	営業外収益 +1,116 営業外費用 △459
親会社株主に帰属する 当期純利益	△ 24,000	28,879	△ 52,879 (—)	特別利益 △4,287 特別損失 △2,738

2020年度予想は、9月を新型コロナウイルス感染症の影響のピークと想定し、以降徐々に企業活動が回復する前提で算定。前期比では、新型コロナウイルス感染症の影響により、営業収益は、全事業で減収。営業損益は、交通事業、レジャー・サービス事業、流通事業、航空関連サービス事業は赤字化、不動産事業、運送事業、その他の事業は減益を見込み、全体で赤字化。営業損益の悪化に伴い、経常損益、最終の当期純損益も赤字化の見通し。

2021年3月期 個別業績予想

() は増減率

(単位：百万円、%)

	2020年度 予想	2019年度 実績	増減	コメント
営業収益	83,400	109,742	△26,342 (△24.0)	鉄軌道事業、開発事業ともに減収
営業利益	△ 2,200	21,767	△23,967 (—)	減収により赤字化
経常利益	800	26,819	△26,019 (△97.0)	営業損益の悪化により減益
当期純利益	△ 1,400	18,180	△19,580 (—)	経常減益に加え、特別損益の悪化により赤字化

◆ 1株当たり配当金◆

(単位：円)

	2021年3月期 (予想)	2020年3月期
配当金額	未定	25.00



2021年3月期 設備投資計画

◆名鉄グループ 設備投資額◆

(単位：百万円)

	2020年度 計画	2020年度 当初想定	2019年度 実績
名 鉄 グ ル ー プ	63,000	83,000	73,286

◆名古屋鉄道 設備投資額◆

(単位：百万円)

	2020年度 計画	2020年度 当初想定	2019年度 実績
名 古 屋 鉄 道	22,300	35,300	32,834

新型コロナウイルス感染症の影響による大幅な収入減に対応して、コストコントロールとキャッシュアウトの抑制を図るため、必要性、緊急性に応じて、規模・内容を見直し。当初想定より連結で200億円程度、単体で130億円程度を縮減。



業績予想につきましては、当社が発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性がありますことをご了承下さい。